

2016年上期の回顧と下期の展望

どん底の時期ならではの戦略は？－課題整理と対処方法－



2016年8月25日

繊維部会

部会長 東洋紡ブラジル 南村幸彦

目次

2016年上期 の回顧

- 総評
- 綿花
- 綿糸
- OE糸・合繊
- 生地・既製服
- ファスナー

下期の展望

- 世界の綿花需給
- レアル反発の影響
- 市況

副題

- 課題整理
- 提言

16年上期 総評

景気後退〉家計購買力低下〉衣料品支出の減少〉



衣料製品の価格下落 = 糸・織布素材の価格下落



原料費高騰 コストインフレ



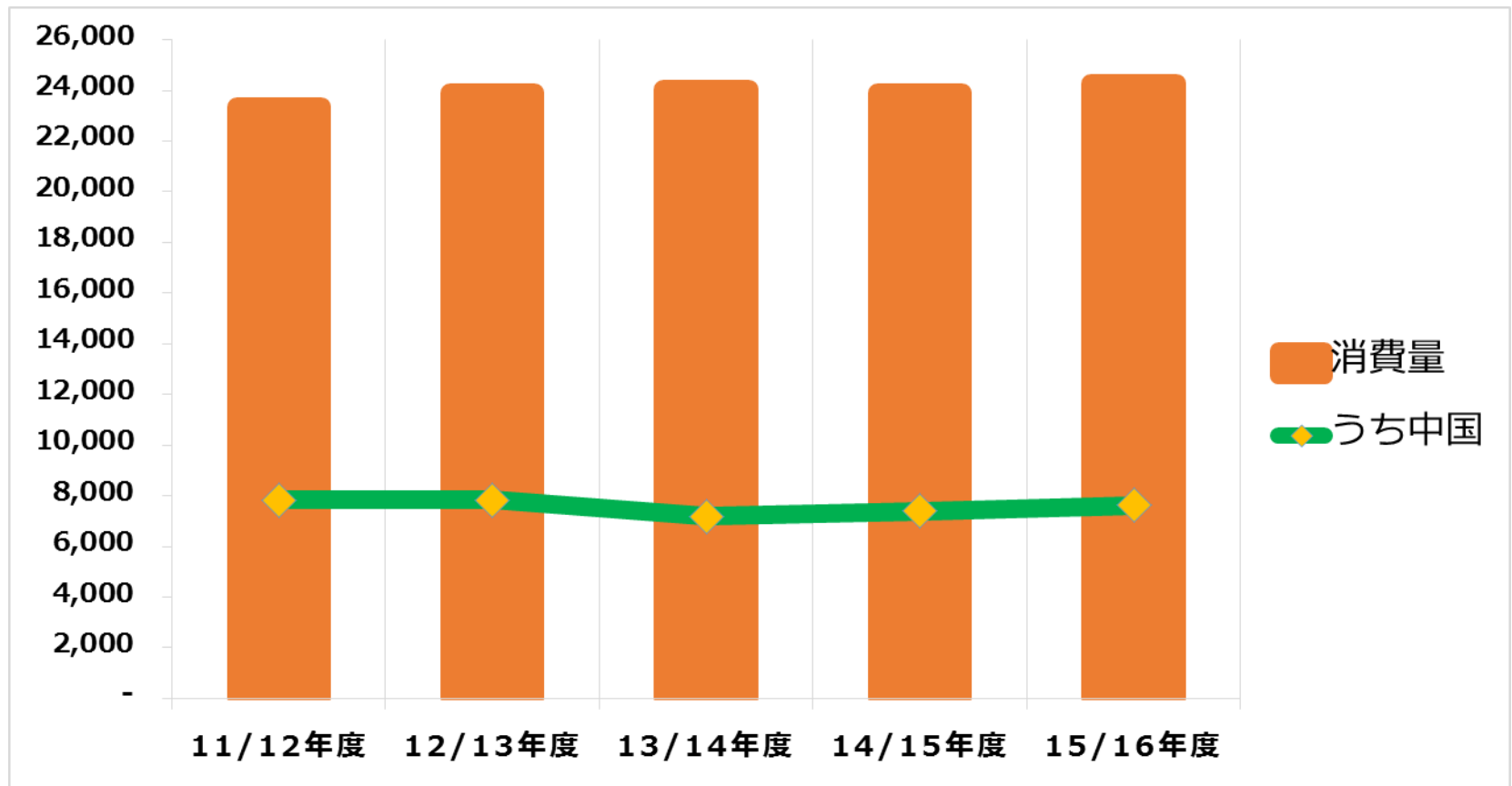
綿花の品質向上〉国際競争力UP〉輸出増加

〈NY綿花相場高〉



- 原料高と製品安の狭間で、繊維事業は苦境の半年間。利益なき闘い。

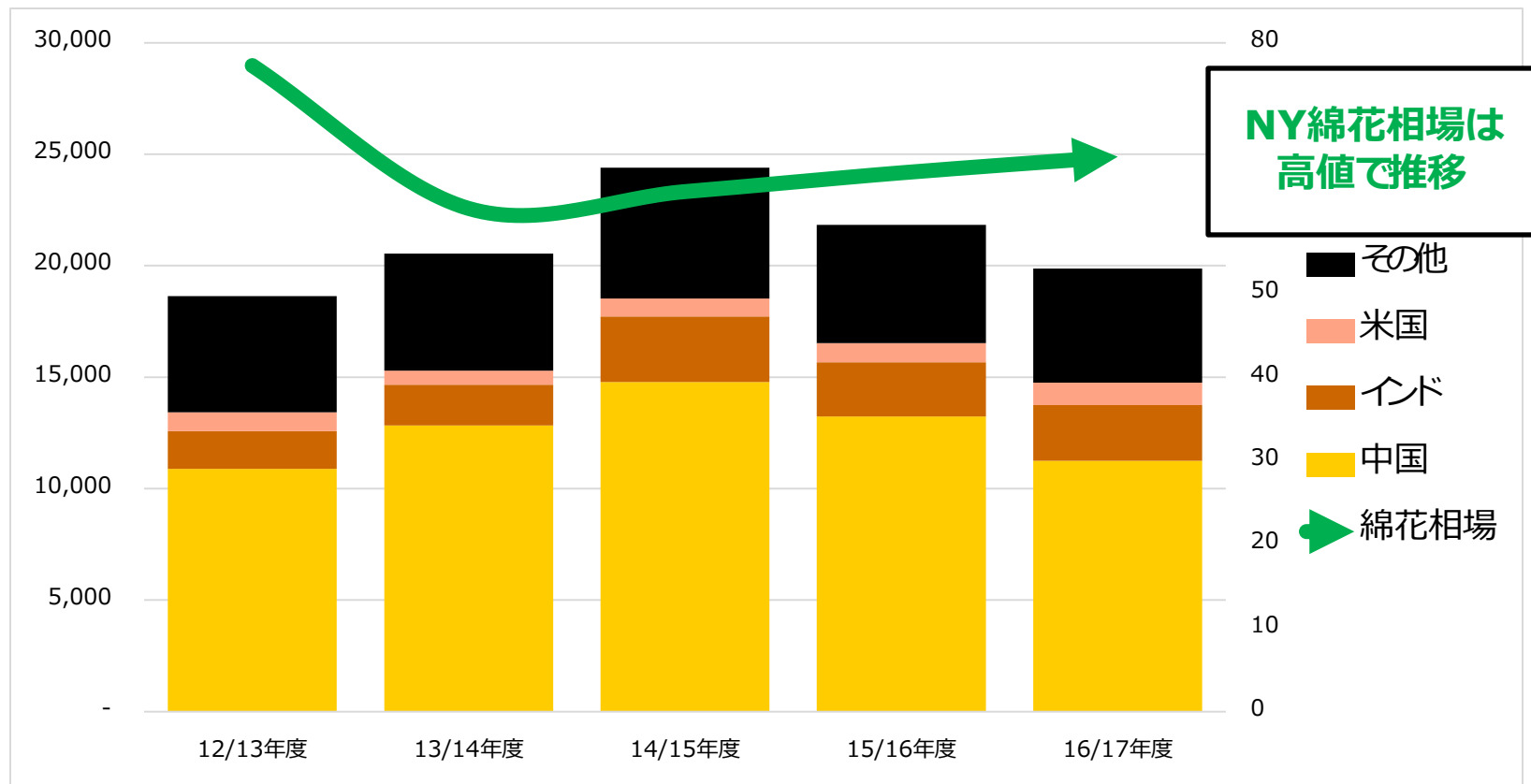
世界の綿花 消費量



米国農務省発表 単位:千トン

- 中国経済の鈍化とEUの景気低迷を背景にして、世界の綿糸や織布の市況は好転しなかった。

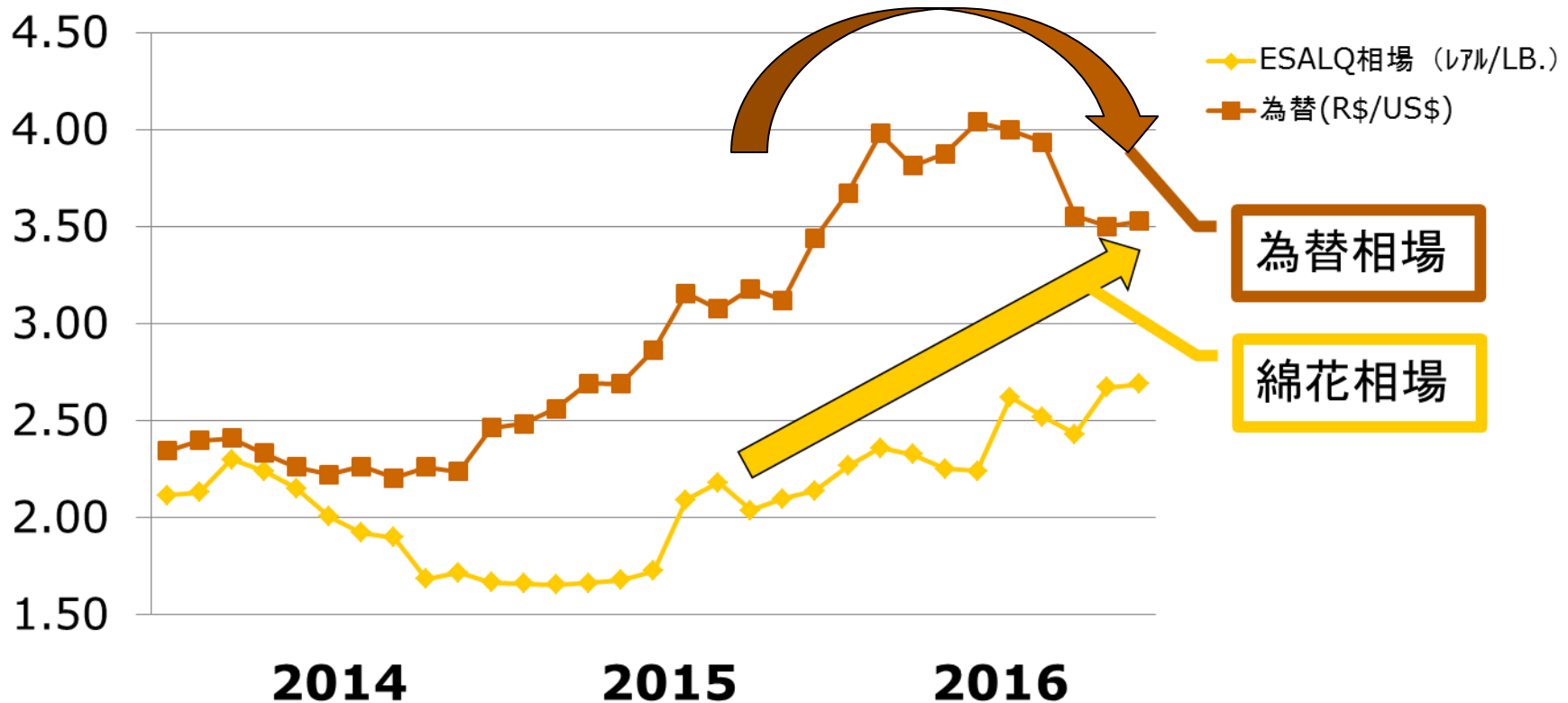
世界の綿花 在庫量とNY綿花相場



米国農務省発表 単位:千トン

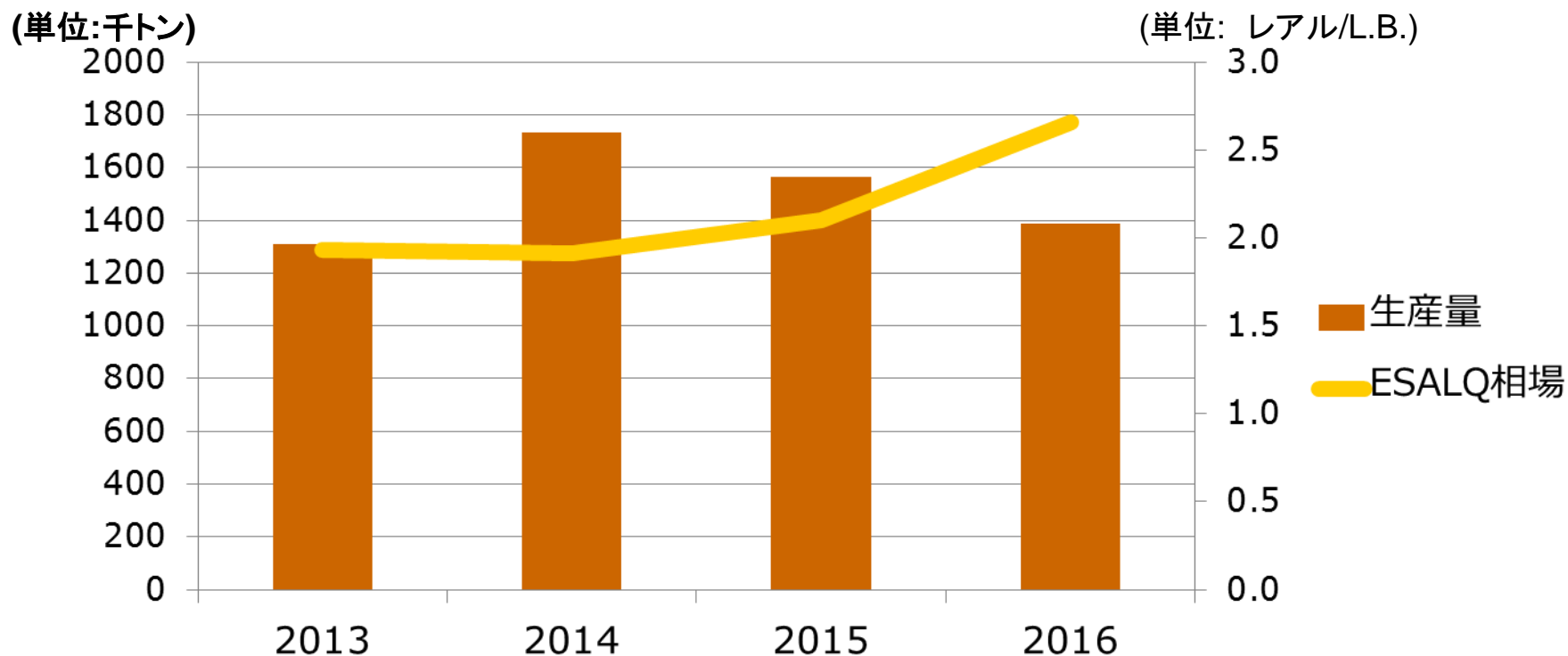
- 需給ポジションの緩和状態は続くが、投機マネーによりNY綿花相場は高値で推移。
- 年末に向けては沈静化すると予測するが、天候不順には要注意。

ブラジルの綿花 為替相場と商品相場



- レアル安が進んだため綿花農家の輸出志向が強まり、綿花価格が高騰。
- 逆にレアル高になるとNY綿花相場に沿って価格を上げる。いいとこ取り。

ブラジルの綿花 生産量と相場

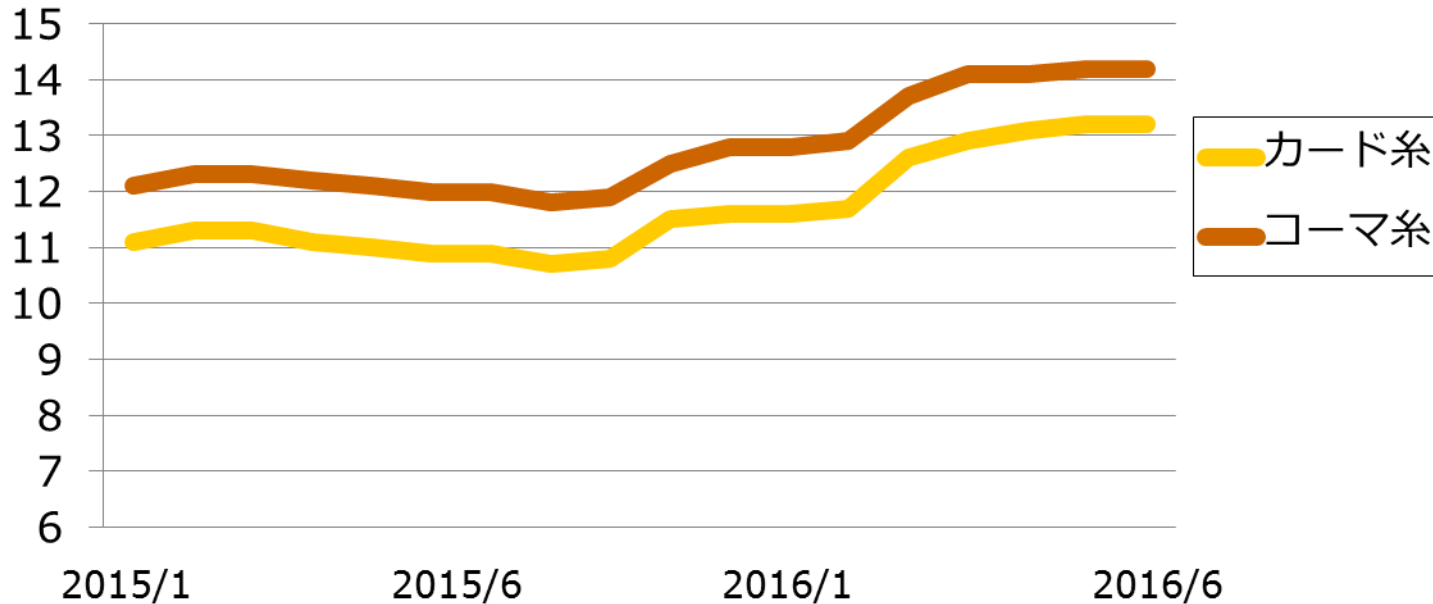


- 消費需要減で国内需給バランスが回復したが綿花価格は高止まり。
- 下期は降雨不足による生産量減少が予想されており、適正品質の綿花が減って価格の高騰が続く見込み。

国内の綿糸相場

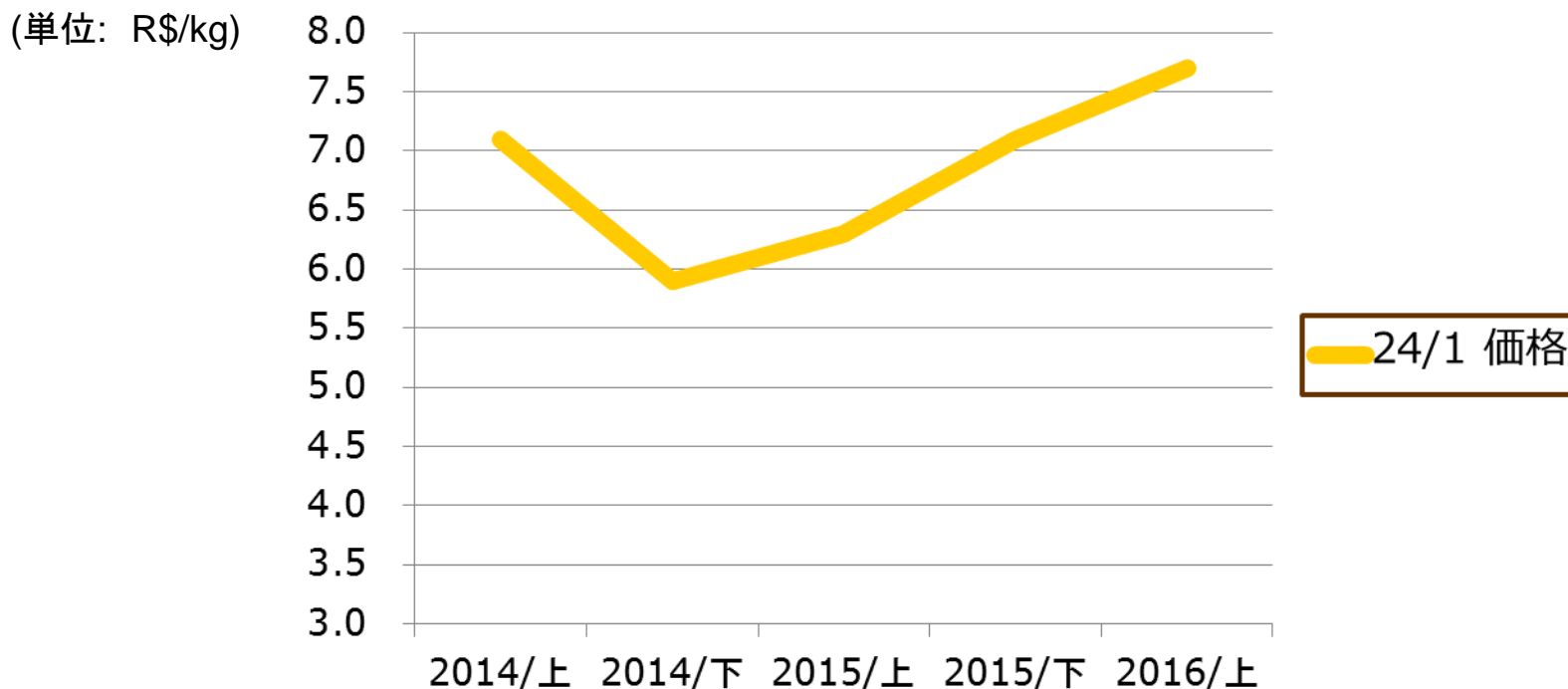


(単位: R\$/kg)



- 市況の悪化を受け、一部の日系、ブラジル紡績会社は減産を強いられた。
- ブラジル紡績(特に北伯)は高いコスト競争力を武器にフル生産、安値販売を続け、供給減でも相場価格は上がらなかった。

オープンエンド系の相場



□ (上) 好調: ニット用太番手糸、ニット用細番手糸、綿混糸、インディゴジーンズ
不調: 産業繊維、装飾製品

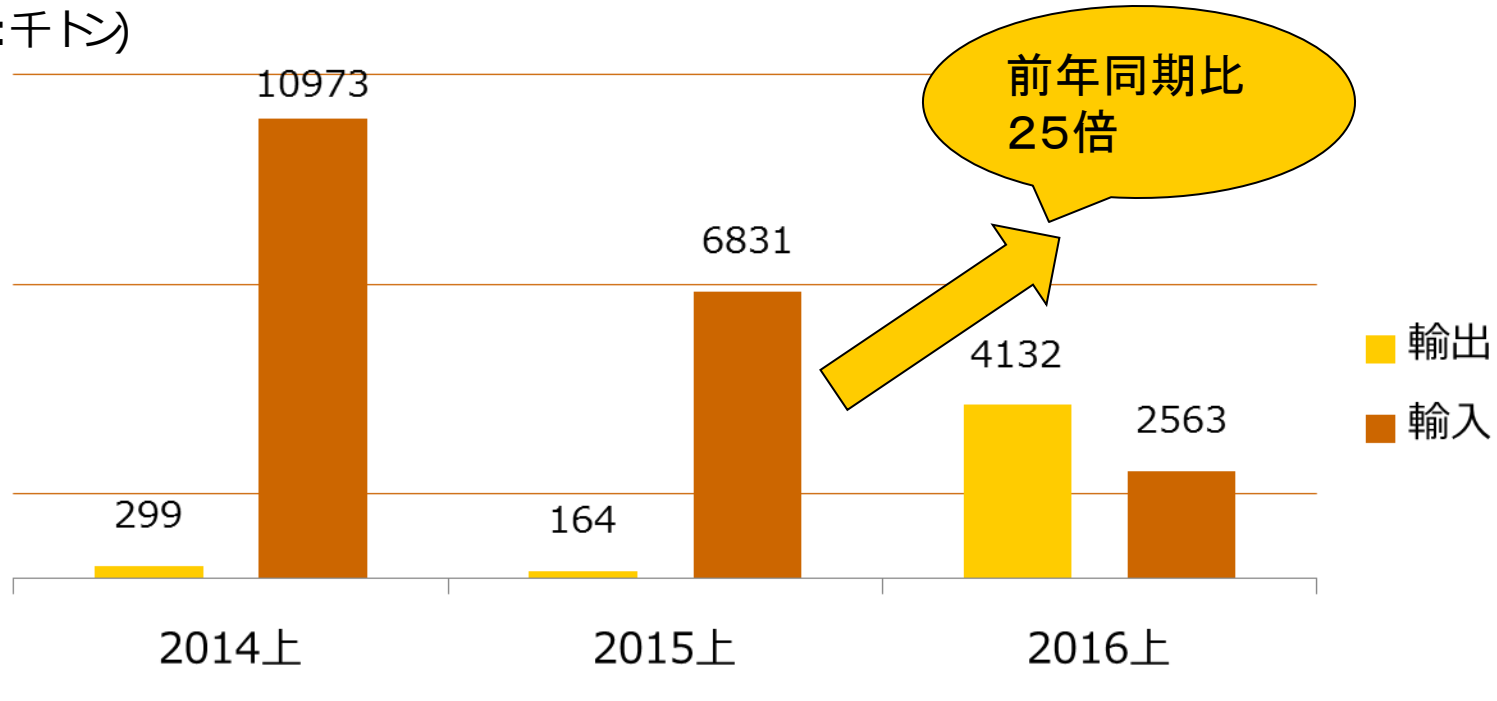
□ (下) 上半期と同じ

好調の要因: 厳しい寒さが続いたことで、冬物ニット製品の需要が伸びた。

綿糸の輸出入



(単位:千トン)

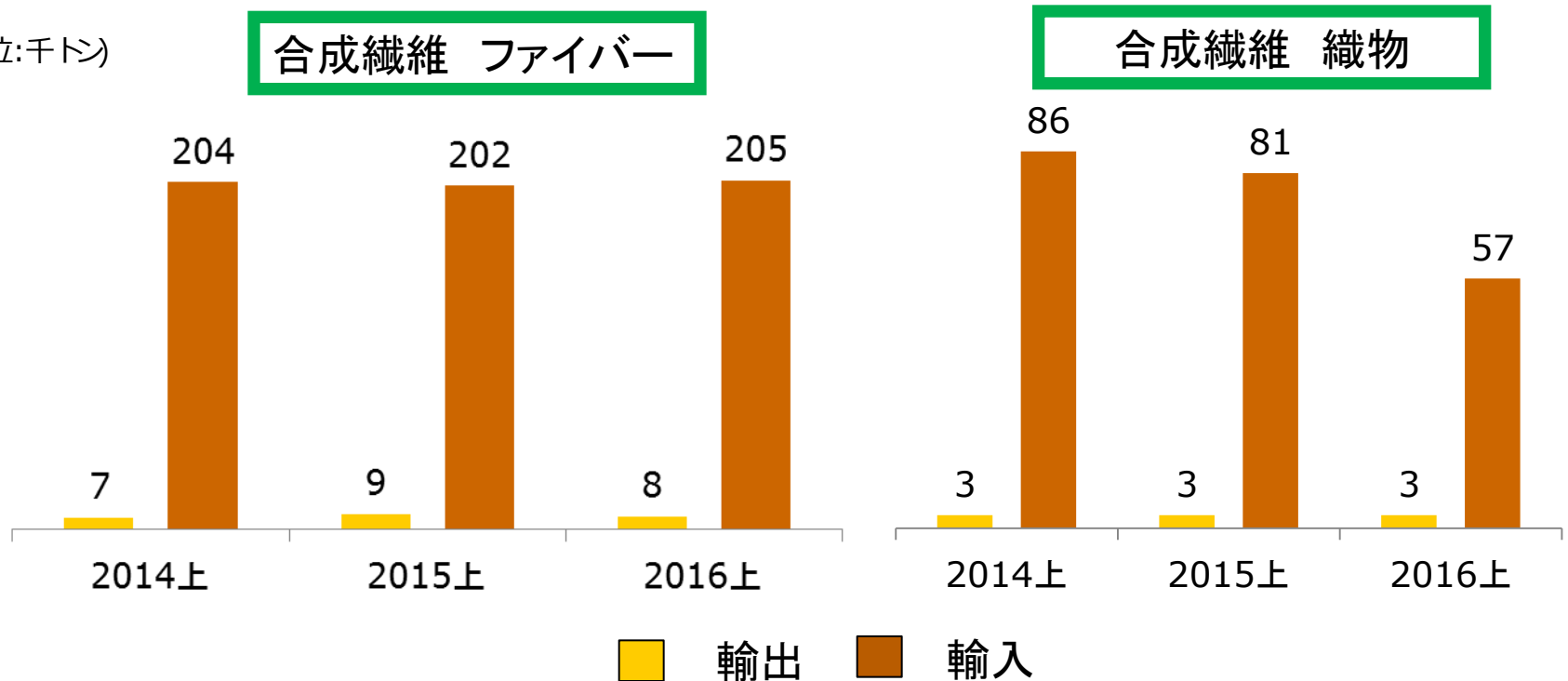


- (上)リアル安が進んだため、大手ブラジル紡績を中心にペルー・コロンビアなど南米向けの輸出が好転。逆に綿糸の輸入は半減した。
- (下)リアルの反発による採算悪化から、輸出にブレーキがかかるものの、一定量は継続すると見込む。輸入は需給バランスが改善されずに低位で推移する。

合成繊維の輸出入

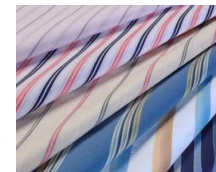


(単位:千トン)

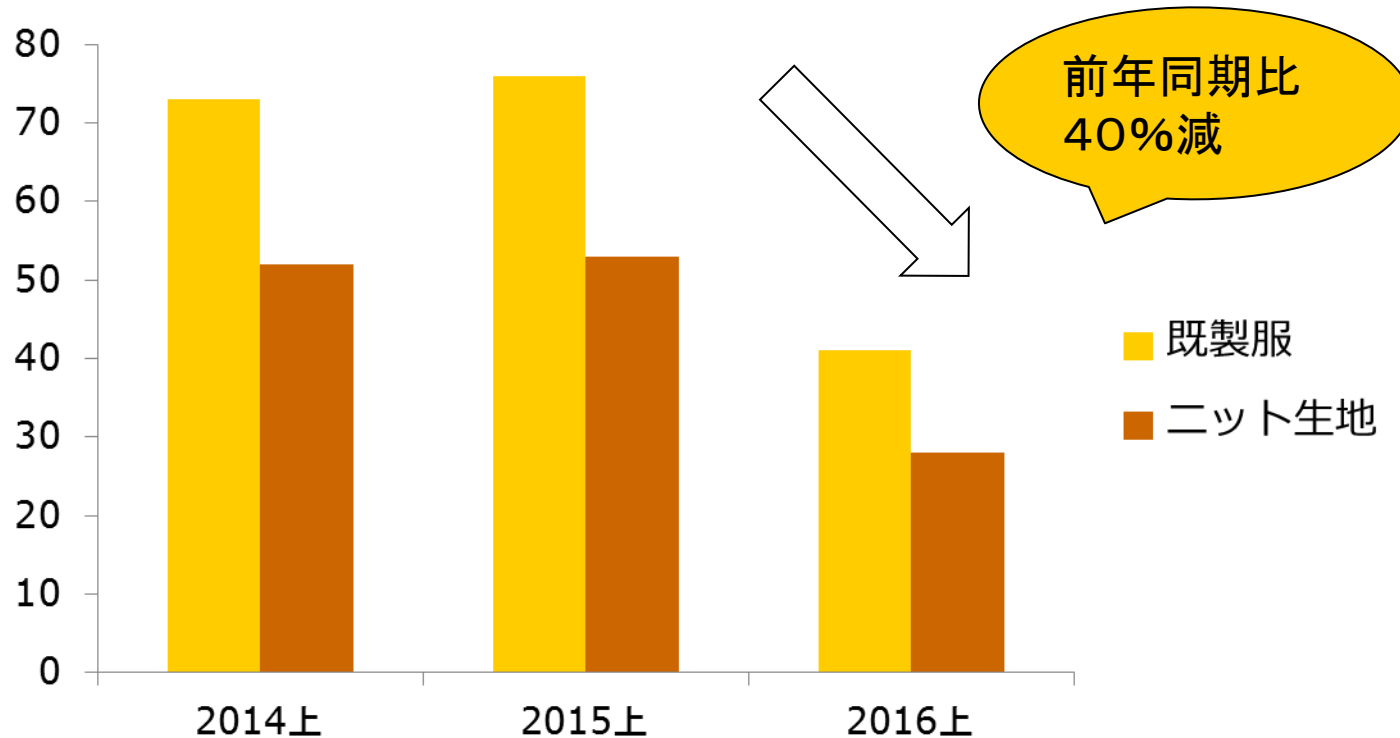


- 政争による混乱から経済政策が機能せず、市場が低迷を続けた。特に、企業向けユニフォームの需要は、業績の悪化により大幅に減少した。
- 下期は、ブラジル経済の回復の兆しにより、レアルの反発が予測されて、国外販売は上半期よりも困難となろう。

ニット生地・既製服の輸入実績



(単位:千トン)

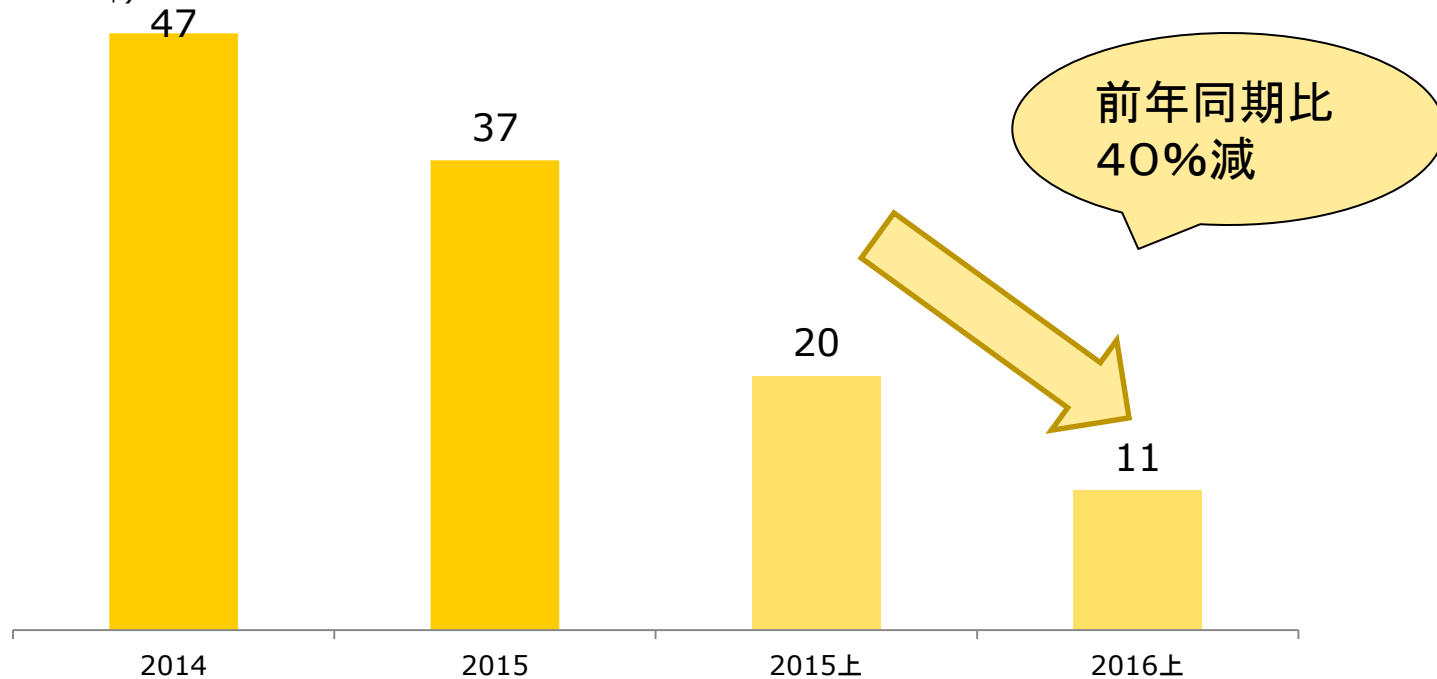


- 対前年同期比で、生地と既製服の輸入は40%以上減った。
- 小売業界は、軒並み売り上げがダウンし、チェーン店の店舗数が減った。小売店の売上が回復するまでは、厳しい状態が続く見込み。

ファスナーの輸入実績



(単位:百万US\$)



- ブラジル全体の景気低迷が消費の低迷を招いて、各衣料品販売店の売上が不振。輸入衣料の減少と並行するファスナーの輸入も40%を超える減少。
- 再びリアル高となれば、輸入が増えて国内産業は苦しくなり、消費低迷が続くおそれがある。

目次

2016年上期 の回顧

- 綿花
- 綿糸
- OE糸・合織
- 生地・既製服
- ファスナー

下期の展望

- 世界の綿花需給
- レアル反発の影響
- 市況

副題

- 課題整理
- 提言

下期の展望

世界の綿花 需給

- 世界的にバランスは緩んでいるが、投機マネーの流入で綿花相場の下げは弱い。

リアル反発 の影響

- 綿糸の輸出は、一定量が継続される。
- 縫製品の輸入が増えれば、糸と織物の売値が下落する。

市況

- 市況を好転させる材料は乏しい。
- 新しい市場づくりの準備期間。

まとめ

- 本格的な回復は2017年以降。
- 損失を最小限に食い止めて春を待つ。

目次

2016年上期 の回顧

- 綿花
- 綿糸
- OE糸・合織
- 生地・既製服
- ファスナー

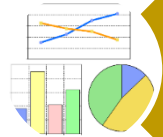
下期の展望

- 世界の綿花需給
- レアル反発の影響
- 市況

副題

- 課題整理
- 提言

課題整理



10年後を見据えた事業拡大のため、長期的な視野で地道にブラジル国内市場を開拓する。



信頼できる現地パートナーの探索と提携により、100%自前主義から脱する。



ブラジル独特の法制を理解し対応するべく現地企業として実地での経験を蓄積し、ブラジル化を深める。



糸だけでは出せない付加価値を衣料品トータルで表現し、国内不況に強い業態へと変わる。

ブラジル政府への提言



ブラジル工業の国際競争力強化

- 次に来る経済成長期を、競争力強化のチャンスに！



新政権による政治の安定

- 政治の安定が経済政策への信頼、信用回復の基礎



ブラジルコストの改善

- 長期的な視野に立ち、経済成長の足かせを外す



海外技術導入への優遇支援

- ブラジルコストを回避できる特例や特区など新制度

Muito Obrigado
ありがとうございました。

繊維部会